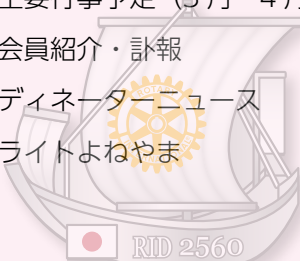


ガバナー月信



月信3月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 国際協議会報告
- ③ 2022-23 年度第 2 回米山記念
奨学委員長セミナー報告
- ④ 第二回青少年交換委員会
オリエンテーション報告
- ⑤ 財団セミナー報告
- ⑥ 会員数報告
- ⑦ 地区主要行事予定 (3月・4月)
- ⑧ 新入会員紹介・訃報
- ⑨ コーディネーターニュース
- ⑩ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

皆様こんにちは。

先月 6 日にトルコ南部でマグニチュード 7.8 の大地震が発生し、甚大な被害が生じました。トルコとシリアの死者は合計で 5 万人を超えています。トルコの死者は先月 25 日時点で 44,200 人を超えました。行方不明者数はわかっておらず、犠牲者はさらに増えそうです。現地の人々の生活の再建は見通すことができず、社会経済は深刻な状況にあります。

国際ロータリーはすぐさま支援を表明し、日本のガバナー会も 2 月 20 日 (月曜日) に開催された第 3 回ガバナー会議で協議し、支援金に関する対応をまとめました。トルコ・シリア大地震についての支援金については、あくまでも各地区が自主的に判断し、方法を選ぶものではありませんが、希望する地区については海外送金手続きをガバナー会が代行することになりました。3 月 31 日までにガバナー会に送金したのものについては、速やかに直接被災地に、日本のロータリーからということで提供することができます。当地区でも、この方法を活用したいと思います。各クラブにおかれましては、できましたら支援金の御寄付をお願いしたく存じますが、クラブ理事会での決定などの手続きもあろうかと思えます。ぜひとも御理解・御協力下さいますようお願い申し上げます。

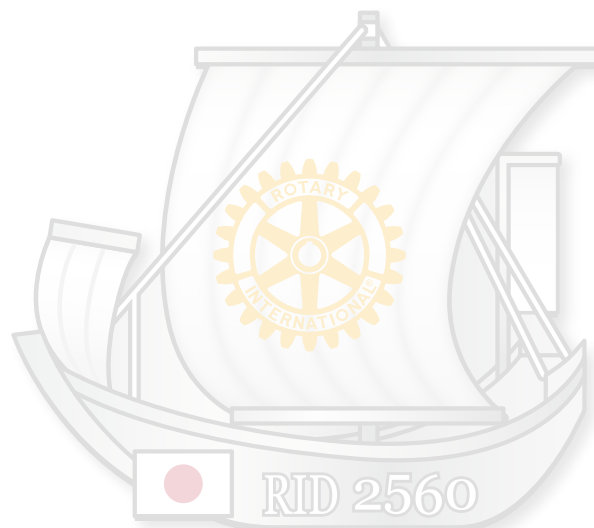
振り返ってみると、日本も様々な災害の折に、海外の人々から多くの支援を受けてきました。地球環境の変化もあって、各種の自然災害は益々規模が大きく深刻なものになってきているように感じられます。経済活動がグローバルなものになってきているのと同様、困っている人々への支援活動もグローバルに支え合って進めていく必要性が一層高まっていると思われます。

話は変わりますが、3 月 4 日には、当地区において米山記念奨学生修了式・歓送会が開催されます。今年の 3 月に終了する奨学生 15 名、8 月終了予定奨学生 2 名、9 月終了予定奨学生 1 名、継続奨学生 3 名が出席する予定です。壇上で奨学生一人一人に修了証書が渡されるます。奨学生本人にとってだけでなく、カウンセラーを務めてくださったロータリアン、そして膨大な業務を担ってくださった米山記念奨学委員会のみなさんと地区事務所のみなさんにとって、感慨深い式典になるでしょう。

米山記念奨学会は、日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、1952 年に東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立したことに端を発しています。設立当時の趣旨として、日本と世界の信頼関係を築くという強い思いがあったようですが、それは今も変わらず、

日本と世界の架け橋となってくれる人材の育成が、米山記念奨学会の活動目的となっています。

この度当地区で終了式を迎える奨学生は、これから母国で、あるいは日本で活躍していくと思います。きっとグローバルな支援活動においても貴重な人材になってくれることでしょう。将来の飛躍を祈念したいと思います。





国際協議会に参加して

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナーエレクト
米山 忠俊 (三条北 RC)

新型コロナウイルスの感染拡大とともに、21、22 年度ともオンラインでの開催となっておりました国際協議会。今年度もオンラインかと危惧しておりましたが 3 年ぶりにインパーソンで行われると決まり、事前準備を念入りにして参加しました。

出発は、年明け 1 月 6 日燕三条駅で、ホームクラブである三条北 RC の同志が朝早くから集まって横断幕まで広げてくれましたので、私と妻は恐縮して新潟を後にしました。

出国時、入国時以上に厳しい協議会参加条件の「受付より 72 時間前以内発行のコロナ陰性証明証の提出」という課題がありましたが、何とかクリアして、1 月 7 日に羽田を発ち 8 日にアメリカフロリダ州オーランドに着きました。約 17 時間のフライトを経てようやく会場であるローゼンシングルクリークホテルに到着しましたとたん、すぐに歓迎レセプションへの参加となりました。世界各国から 500 名のガバナーエレクトとそのパートナー、他約 1,000 名の参加で行われましたレセプションでは、J. ジョーンズ RI 会長をはじめ役員の皆様の温かいお心遣いにご対応をいただき旅の疲れもとれ楽しい時間を過ごしました。



いよいよ、9日からは4日間の研修のはじまりです。毎日、本会議が2回、分科会が4回の強行スケジュールで行われ、ついていくので必死なほどの内容でしたが、とても実りあるものとなりました。協議会参加者が一堂に出席した本会議では、ゴードン RI 会長エレクトの次年度のテーマ発表などがありました。分科会では、少人数で各テーマに沿って意見を交わし、ガバナー年度において必要となる新たな情報や考えを学びました。

セミナー後には毎夜楽しい宴に参加しました。特に3日目に開かれました文化の夕べでは世界の国々の食事、民族衣装、踊りや文化を見て話して楽しみました。最終日の閉会セッションと晩餐会は参加者全員で別れを惜しみ再会を誓いあい、記憶に残る楽しい思い出となりました。

今回の協議会に参加して一番驚いたのは、女性の参加が目に見えて多いことです。もちろん、パートナーではなくガバナーエレクトとしての参加です。24-25年度の会長も女性なのは皆様もご存じだと思います。翻って、日本のガバナーエレクトは女性0人、すべて男性です。日本は遅れていると、強く実感いたしました。

世界中のロータリアンと出会い、顔を見て語り合えたということは、何事にも代えがたい貴重な経験となりました。この経験を活かし、今後第2560地区のお役に立つよう尽力する所存でありますので、今後ともよろしく願いいたします。



文化交流の際には法被を着ました



同期のみんなとテーマカラーのネクタイを締めて



2022-23 年度第 2 回 米山記念奨学委員長セミナー報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 米山記念奨学委員会 寄付増進委員長
熊倉 正志 (新潟万代 RC)

2023 年 2 月 4 日 (土) ホテルオークラ新潟で行われました 2022-23 年度第 2 回米山記念奨学委員長セミナーについてご報告致します。

昨年 10 月の第 1 回セミナー同様、各クラブ会員の皆様に、より一層米山奨学事業をご理解いただきたく、各クラブの 2022-23 年度会長と米山奨学委員長にご参加をお願いしました。

そして当日は、まず冒頭で高橋秀樹ガバナー、米山忠俊ガバナーエレクトよりご挨拶を賜り、渡邊嘉子米山記念奨学委員長より力強い開会宣言をいただいてセミナーに入りました。

まずはじめに、奨学生の体験発表として、許雲霞 (キョ・ウンカ) さん (上越教育大学大学院、世話クラブ: 越後春日山 RC) と、サボー・ペーテルさん (ハンガリー、事業創造大学院大学、世話クラブ: 三条北 RC) より、日本を留学先に選んだ理由、奨学生としての近況



報告、ロータリアンへの感謝、そしてこれからの「夢」について発表いただきました。

続いて、今回の講演のために大阪より駆けつけていただいた学友のコットパーシャリン・ティータット（通称：ティタ）さん（タイ、新潟大学、世話クラブ：新潟東 RC）より、『これからも頑張る私』というテーマで、日本に留学した時の熱い思いと、これからも日本で頑張る固い決意を力強く語っていただきました。日本が大好きな彼はきっと、これからの日本の大きな『力』になってくれると思います。

その後、小林達奨学生選考委員長より、選考方法の説明と1月14日の奨学生選考会の状況と結果をご報告いただき、私からは世界で活躍している学友の紹介と、混沌とした今だからこそ米山事業の意義があるということと、第2560地区で奨学生を一人でも多く受け入れるために、特別寄付者割合全国第1位を目指し、『100円でも全員寄付を！』を、お願いさせていただきました。

最後に（公財）ロータリー米山記念奨学会理事である新保清久パストガバナーより、米山奨学事業への協力に対する感謝の意と、日本独自の国際理解・親善・平和を推進する米山奨学事業に対して、変わらぬご支援をお願いいただき、セミナーを終えました。

今回は面前開催のセミナーでしたが、県内全54クラブ中43クラブからご参加いただき、その内23のクラブからは、会長・奨学委員長とともにご参加いただきました。米山記念奨学委員会一同、心より感謝申し上げます。何と云っても米山奨学事業は、RC会員の皆様からのご寄付で成り立っています。その寄付増進には、各クラブの会長と奨学委員長のご理解と、強力なご支援が必要です。今年度も残すところあと4か月となりました。今年度の個人平均寄付額の地区目標20,000円/人の全クラブ達成へのご協力を、何卒宜しくお願い致します。





第二回青少年交換委員会 オリエンテーション報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 青少年交換委員会 委員長
坂上 彰平 (豊栄 RC)

2月4日ホテルオークラ新潟にて、第二回青年交換委員会オリエンテーションを開催致しました。

高橋ガバナー、米山ガバナーエレクトに出席して頂き、長期派遣学生1名短期派遣学生3名、その保護者、ホストクラブの方々 ROTEX と委員に参集して頂き開催いたしました。

高橋ガバナーより「前回のオリエンテーションで学んだことを活かしてもらいたい。今回危機管理のお話がありますが危機管理意識を持ってもらいたい」と、ご挨拶を頂きました。

危機管理のお話をしました。最初に前回のおさらいで、4D ルールの重要性を再確認してもらいました。



《ロータリー国際ルール (4D ルール) : 交換学生として決してしてはならないこと》

- ・ Drive : 自動車、オートバイ、飛行機など原動機 (エンジン) 付の乗り物を運転すること
- ・ Drink : アルコール飲料を飲むこと、たばこを吸うこと
- ・ Date : 恋愛関係におぼれること、セックス行為の禁止
- ・ Drug : マリファナ、コカイン、覚せい剤、麻薬類などは決して使ってはいけないこと



自分の命は自分で守ることを考えてもらい、自分で考え自分で判断してもらいたいと話しを致しました。

前回のオリエンテーションの感想文を派遣学生に発表して頂きました。

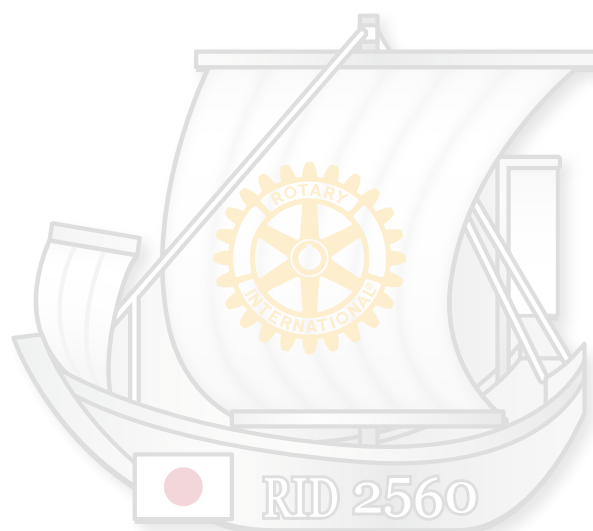
全員がロータリーの交換プログラム及び4Dルールを理解して頂いた内容を発表頂きました。

その後、プレゼンテーション発表をして頂きました。

初めてのプレゼンテーション発表でしたが、皆さん堂々と発表していました。

第一回オリエンテーションでROTEXの方がレクチャーのおかげだと思います。

次回4月22日、第三回オリエンテーションを開催致します。それまでに皆様からアドバイス頂いたことを活かして、より良いプレゼンテーションが拝見できると思っております。





財団セミナー報告

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 補助金委員会 委員長
稲葉 忠克 (新潟西 RC)

2/18 (土) ホテルオークラ新潟にて、財団セミナー・補助金管理セミナーが 52 クラブよりご参加いただきコロナ対策に配慮しながら開催されました。

セミナーの概要～事例・取組発表、資金管理ルールについてと、本会の意義や財団への更なる理解(寄付目標など)を深める貴重な時間となりました。

米山年度においては全クラブより補助金活用を推進すべく、地区との覚書 (MOU)、補助金申請の有無 (2/18 時点でプロジェクト実施予定のクラブ) の報告・回収を致しました。

プロジェクト申請にあたり、ポイントを明確にすることで立案しやすいと感じております。

- ① 目的
- ② 受益者の確定 (受益者が毎度同じ、補助金ありきは検討の余地があります)
- ③ ニーズの確認
- ④ ロータリアンの参加
- ⑤ 広報活動・成果の確認

また、当日配布済の 2560 地区補助金とグローバル補助金要項、授与と受たぐの条件を再度熟読していただき、プロジェクトの申請に役立てていただきたいと思います。

※地区財団委員も、申請から最終報告提出までサポートさせていただきます。

※高橋年度のプロジェクト実地一覧表も添付していますので、自クラブの立案にお役立ていただければと思います。



第 2560 地区 2022-23 年度 1 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			増減
				2022年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	
第1分区 (9クラブ)			-	372	380	37	8
	新発田	3	31.5%	88	89	0	1
	村上	4	19.5%	38	41	10	3
	水原	3	29.0%	33	31	1	-2
	中条	3	91.5%	44	48	3	4
	新発田城南	3	21.1%	38	38	4	0
	豊栄	3	17.4%	23	23	2	0
	新発田中央	3	4.3%	45	46	4	1
	中条胎内	4	52.8%	36	37	7	1
	村上岩船	3	25.9%	27	27	6	0
第2分区 (9クラブ)			-	426	445	31	20
	新潟	4	25.0%	79	88	3	9
	新潟東	3	18.8%	63	64	8	1
	新潟南	3	33.6%	108	113	6	5
	佐渡	2	80.0%	5	5	0	0
	新潟西	4	47.5%	38	40	2	2
	佐渡南	3	13.2%	38	38	4	0
	新潟北	3	28.9%	35	38	1	3
	新潟中央	3	44.4%	18	18	0	0
	新潟万代	3	53.7%	42	41	7	0
第3分区 (5クラブ)			-	89	91	5	2
	新津	3	18.8%	18	16	1	-2
	村松	4	50.0%	10	12	0	2
	白根	3	29.0%	30	31	1	1
	新津中央	4	38.5%	26	26	3	0
	阿賀野川ライン	3	0.0%	5	6	0	1
第4分区 (11クラブ)			-	350	363	26	13
	三条	3	10.5%	55	57	0	2
	燕	4	8.6%	33	35	2	2
	加茂	3	6.9%	32	29	4	-3
	三条南	3	17.1%	35	41	2	6
	分水	4	78.6%	29	30	4	1
	見附	3	5.0%	21	20	1	-1
	吉田	3	3.6%	28	28	3	0
	三条北	4	9.4%	54	53	2	-1
	巻	3	3.7%	25	27	3	2
	田上あじさい	4	14.3%	6	6	2	0
	三条東	3	5.4%	32	37	3	5

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			増減
				2022年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	
第5分区 (7クラブ)			-	288	293	25	5
	長岡	4	74.5%	44	46	3	2
	柏崎	3	2.4%	40	41	0	1
	長岡東	2	25.9%	52	54	4	2
	柏崎東	3	18.6%	43	43	2	0
	栃尾	3	13.6%	21	21	1	0
	長岡西	2	18.4%	49	49	3	0
	柏崎中央	3	23.1%	39	39	12	0
第6分区 (6クラブ)			-	116	122	12	6
	十日町	3	27.3%	31	33	4	2
	小千谷	3	10.7%	28	28	4	0
	雪国魚沼	3	19.2%	25	26	3	1
	十日町北	3	0.0%	14	14	0	0
	津南	3	21.4%	12	14	1	2
	越後魚沼	4	14.3%	6	7	0	1
第7分区 (7クラブ)			-	313	314	22	1
	高田	3	34.8%	70	69	4	-1
	直江津	3	37.5%	72	72	6	0
	新井妙高	3	11.4%	35	35	1	0
	糸魚川	3	92.9%	41	42	3	1
	高田東	3	66.7%	35	36	3	1
	糸魚川中央	4	55.6%	27	27	0	0
	越後春日山	3	93.9%	33	33	5	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,954 人
1月末会員数	2,008 人
女性会員数	158 人
純増減会員数	54 人
My Rotaryアカウント登録率	29.6 %

地区主要行事予定

2023年2月21日現在

年	月	日	行事	会場	
2023年 (R5) 高橋年度	3月	平和構築と紛争予防月間			
		4	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
		11	(土)	米山年度 クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)	ジオ・ワールドVIP
		18	(土)	村松RC創立60周年記念式典	割烹 松の家
		18	(土)	ローターアクト地区大会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		25	(土)	社会奉仕セミナー	ホテルオークラ新潟
		25~26	(土~日)	全国ローターアクト研修会 インターアクト海外研修 →中止	金沢
	4月	環境月間			
		1	(土)	米山カウンセラー研修会	ホテルオークラ新潟
		1	(土)	第2分区IM (森田G補佐・新潟南)	ホテルオークラ新潟
		8	(土)	グローバル補助金奨学生選考会	万代シルバーホテル
		15	(土)	柏崎RC創立70周年記念式典	産業文化会館
		15	(土)	第4分区IM (渡邊G補佐・巻)	ホテル富士屋
		16	(日)	白根RAC創立50周年記念式典	サルナート吉運堂
		20~21	(木~金)	クラブ活性化セミナー 2023	東京プリンスホテル
		22	(土)	新発田RAC50周年記念式典	新発田市月岡
		22	(土)	雪国魚沼RC創立60周年記念式典	ナスパニューオータニ
		22	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		22	(土)	第3回派遣学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		23	(日)	長岡西RC創立40周年記念式典	長岡ベルナール

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
高田	西山 要耕	2023.01.01	宗教法人 善行寺	代表社員	仏教
佐渡南	渡部 智博	2023.01.01	有限会社 山治屋	専務取締役	屋根工事業
糸魚川	堀江 登志雄	2023.01.01	堀江工業(株)	専務取締役	鉄骨加工業
糸魚川	伊井 浩太	2023.01.01	(株)傳兵	代表取締役	飲食業
糸魚川	中林 友幸	2023.01.01	(有)友スタッフサービス	取締役	一般廃棄物処理業
中条	福田 始弘	2023.01.11	(株)クラレ 新潟事業所	事業所長	重化学製品製造
中条	板谷越 正志	2023.01.11	(株)ヨシデン	取締役工場長	電気機械器具製造業
村上	宮尾 佳明	2023.01.12	宮尾酒造(株)	代表取締役	清酒製造
村上	山崎 瞳美	2023.01.12	Bar M	代表	バー
新潟北	村上 正人	2023.01.16	村上環境(株)	代表取締役	解体業
直江津	佐藤 友洋	2023.01.24	カネヨ物産株式会社	専務執行役員	非鉄金属卸売業
中条胎内	羽田 健亮	2023.01.27	障がい福祉サービス カレイドスクエアパーク	代表取締役人材本部長	社会福祉士
長岡東	房前 達朗	2023.02.01	(株)コービル	総支配人	ホテル
長岡	加藤 太	2023.02.07	(株)JTB 長岡支店	支店長	旅行業
長岡	原 和正	2023.02.14	原商株式会社	代表取締役	酒類卸・小売り

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
中条胎内	馬場 肝作	2023.02.06	医療法人白日会 黒川病院	会長	病院経営	



第1地域 ロータリーコーディネーター 橋岡 久太郎(佐倉中央)

第1地域のロータリーコーディネーター(RC)を拝命いたしております、橋岡 久太郎 (RID2790:千葉県全域:佐倉中央 RC)と申します。

地域リーダー(RC・RRFC・RPIC・E/MGA・EPNC)は、皆様方会員がロータリーの目標を支え、各地区内と世界中の地域社会でインパクトをもたらすことができるよう、地区リーダーと協力して会員を支援します。また、ロータリー研究会、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)、地域・ゾーンの研修セミナー、地区研修、その他の行事(情報研修会・IM)等に、ご依頼頂ければ講演や研修者、進行役等を務めます。

特に RC は、既存クラブの支援と強化、および新クラブと衛星クラブの設立を促進することで、ロータリーの戦略計画を推進します。また、地区リーダーと連携して、新クラブと衛星クラブの結成、ロータリープログラムへの参加の促進、会員増強(入会・参加促進)を奨励します。特に DEI をクラブレベルでご理解いただき、浸透させていただくために特化したセミナー等を積極的に推進して参ります。

今回は私の担当させて頂いております第1地域をご紹介します。国内3地域の中でも担当地区数が14地区と最も多く、北海道の2地区から千葉県までと広い範囲になります。そのような地域を心強い3名の補佐(ARC)の方々に其々の担当地区のお手伝いをお願いしております。

RID2500:北海道西部・RID2510:北海道東部・RID2530:福島は、福井 啓悟 ARC

RID2830:青森・RID2540:秋田・RID2520:岩手宮城・RID2800:山形・RID2560:新潟は、今井 高志 ARC

RID2840:群馬・RID2550:栃木・RID2570:埼玉西北・RID2770:埼玉南東・

RID2790:千葉・RID2820:茨城は、中里 公造 ARC

ロータリーコーディネーター

第1地域	第2地域	第3地域
 橋岡久太郎 佐倉中央ロータリークラブ	 野口 英一 甲府ロータリークラブ	 滝澤 功治 神戸須磨ロータリークラブ
 福井 敬悟 札幌手稲ロータリークラブ	 辻 正敏 ロータリークラブ	 中川 基成 あすかロータリークラブ
 今井 高志 弘前ロータリークラブ	 若林 英博 東京麹町ロータリークラブ	 庄司 尚史 境港ロータリークラブ
 中里 公造 川口モニングロータリークラブ	 桑澤 一郎 茅野ロータリークラブ	 安増 惇夫 宗像ロータリークラブ

ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA)、ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) は、ロータリー会員の皆様方が必要とするリソースと支援を提供させて頂きます。地域リーダーは、国際ロータリー会長エレクトまたはロータリー財団管理委員長エレクトによって任命されます。

私達コーディネーターとアドバイザーを知ってご活用頂き、皆様方のロータリー活動をよりダイナミックで充実したものにさせて頂ければ幸いに存じます。



【ロータリーと“感動”】



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 田中 久夫（高崎）

最近、「人が生きるために必要なものは？」という問いに出会いました。建築家の安藤忠雄氏からの問い掛けです。

ある人は一言、「それは“お金”である」と言っていました。その昔、小池百合子東京都知事は「それは“希望”である」と宣言して、新党“希望の党”を作り同士を集め国政選挙に打って出ました（結果はあまり芳しいものではありませんでしたが…）。

でも私は、「それは“感動”である」と信じています。

人は皆、何らかの職（しごと）を持ち、それを業（なりわい）として生計を立てています。それが「職業」です。職業ですから、日常の職業従事がマンネリ化してきてもそれを簡単に辞めるわけにはいきません。それを継続するためには、何か「日常」（原因から生み出される結果が容易に予測できるもの）を超える「感動」（原因と結果が容易に結びつかないもの）が必要になってくるはず。職業が楽しいと思えるためには、仕事が達成した暁には予想もつかない感動があることが必要なのです。

例えば、大変困難な仕事に直面しているとき、この苦労を何のためにするのか？という疑問を持つことがあります。でも、苦労はそれを乗り越えて成果を得たときに初めて達成感（感動）を覚えるものです。簡単な仕事ではつまりません。感動を求めて敢えて無理難題にチャレンジするところから職業従事の快感があるのではないのでしょうか。しかも、その快感はその苦労に参画する者が多いほど倍加するという論理は明白です。それは、私たちが昔読んでいた少年マンガの成功論理と同じです。少年マンガは、3つの要素が織り込まれれば必ずヒットすると言われています。1つは友情（仲間やライバルの存在）、1つは努力（目標に向けて必死に頑張ること）、1つは勝利（目標の達成）です。まるでロータリーです。

あるクラブを訪問したときのこと、そのクラブが次年度〇周年を迎えるという話題になりました。そのとき、そのクラブの幹部で「準備が大変だから、式典は簡素にしよう」と発言した人がいました。これはもったいない話です。せっかくロータリーによって感動を得ることが出来るのに、自らその機会を失うことになってしまうからです。

ロータリー活動は多くの感動を得ることが出来る、人生にとって貴重な快感体得活動です。ロータリーに入って良かったと思える瞬間をたくさん手にしましょう。先憂後楽、そのためには若干の苦労はあるかも知れども…。



「変わりながら変わらない価値を創造する」



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 伊藤 靖祐（江南）

叶えたい未来を共に実現していくことができるのがロータリーです。ロータリーのビジョン声明に「人びとが手を取り合って行動する世界をめざしています」とあるように共に行動し実現できるのがロータリアンです。ビジョン声明の英語原文が「Together,」から始まるのは“共に”ということが強調されている証であり、ロータリー財団では一つひとつのご寄付により共に世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができるということです。その結果、ポリオ根絶という歴史をつくるカウントダウンが始まりました。世界の歴史や記憶は新たな挑戦によってのみ更新され次の時代に引き継がれます。すなわち、ロータリーは118年を超えて変わりながら変わらない価値を創造してきたのです。

これからもこの変わらない価値をロータリーは変わりながら高めていく必要があります。佐藤 RI 理事が推進した世界ポリオデーによる公共イメージ向上、ポリオ根絶へのご寄付とファンドレイジングを今後も第二地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐としてロータリーの価値の向上にも目を向け進めて行きます。

ロータリーには力があり価値があります。ポリオのない世界という次世代の子どもたちへのギフトを見据えてロータリーの Future Value を最大化することはロータリー財団地域コーディネーター補佐の大きな役割と認識しています。ロータリーの使命・ロータリー財団の使命を実現するためにロータリーの Future Value のつくり方について楽しみながら向き合い、第1・2・3地域で協力の上、さらには恒久基金/大口寄付アドバイザー、ポリオ根絶コーディネーターとともにロータリー財団活動の活性化を図る一助になればと考えています。また、地域社会こそがロータリーのステークホルダーですので、第二地域では9地区の地区財団委員長ともミーティングを実施の上、まだまだ伸びしろがあるポールハリス・ソサエティや遺贈について推進していきます。よろしくお願ひ申し上げます。



1. マレーシア米山学友会が次世代教育支援

1月12日、マレーシア米山学友会会長の黄麗容さん(2001-04/横浜泉RC)、会計担当の張美玲さん(1996-98/駒ヶ根RC)がペナン中国女子高等学校を訪れ、2つのパソコンセット(CPU+モニター)と2台のモニターを寄贈しました。

IT専門の学級を持つ同校は、授業に使用しているパソコンの老朽化による性能不足で、授業が成り立たない上に、買い替える予算も足りていない、という問題を抱えていました。その現状を耳にした同学友会は、「社会貢献のための次世代教育」の一環として支援を申し出、買い替えが必要なパソコンの一部を寄贈することで、新たな教育環境整備の助けとなりました。



ペナン中国女子高等学校校長(左)へ寄贈

黄麗容会長は、「私たちが米山に支えていただいたことと同様に、私たちも次の世代のために力になることができました」と、その喜びを伝えてくれました。なお、同学友会は、3月5日に年次総会を開催予定です。

2. 寄付金速報 — 2023年は緩やかにスタート —

前年同期比

+ 5.8%

普 - 1.5% 特 + 9.8%

1月末までの寄付金は前年同期と比べて5.8%増(普通寄付金:1.5%減、特別寄付金:9.8%増)、約5,900万円の増加となりました。単月寄付

はやや伸び悩んだものの、寄付累計額では2016

年度以降で最高額のまま、好調に推移しています。ロータリアンの皆さまに厚く御礼申し上げます。例年1月は、普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付)の下期分の納入が主となります。引き続き皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

3. 学友マイ・ストーリー第3弾公開

米山記念奨学会では、公式のYouTubeチャンネルにて、当事業に関する動画を順次更新しています。

今回新たに、京都精華大学の前学長で、京都北RC会員でもある米山学友、ウズビ・サコさん

(1992-93/京都北RC)にフォーカスした「学友マイ・ストーリー3」を公開しました。米山奨学生時代のカウンセラーとの思い出や、自身のロータリアンとしての考え、そして現在の活動などについて密着しています。サコさんがインタビューで何を語ったのか、ぜひご覧ください。

引き続きYouTubeを活用し、例会やセミナーなどで、米山奨学事業について皆さまに手軽にお届けできるよう努めてまいります。また、ご希望があれば、動画ファイルをお送りすることも可能です。希望の方は当会の広報担当までご



4. 「心も美化する」チャリティー奉仕リレー第3弾



第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

今回は第3弾として1月17日、国際ロータリー第2820地区米山学友会による募金活動および霞ヶ浦総合公園の清掃活動が開催されました。

当日は6人の米山学友、6人の現役奨学生を含む25人が参加。募金活動では、「貧困に苦しむ日本の子どもたちのための教育支援」を呼び掛け、総額67,000円が集まりました。募金活動後は、土浦市内の霞ヶ浦総合公園にて清掃活動を実施。同学友会の清掃活動は、昨年度に続き、2年連続となりました。

広報担当の崔玉芬さん(2007-08/大洗RC)は、「この活動は、環境を美化するだけでなく、私たちの心も美化される、とても気持ちの良い活動です。この日は米山学友の子どもも参加し、ロータリーの奉仕の精神を次世代に伝える素晴らしい機会になりました」と、奉仕リレーの一日を締めくくりました。

5. オンラインで高校生と異文化交流

東京米山友愛RCと東京米山ロータリーEクラブ2750が合同で主催する、米山学友・奨学生と高校生の国際交流イベントが、1月15日にオンライン開催されました。

このプロジェクトは、米山学友を中心とした多国籍な会員たちが所属する両クラブだからこそ可能な奉仕活動を実現したい、という思いから、両クラブの合同奉仕活動として2013年から始まった、国際理解のためのワークショップです。今回は、都立成瀬高等学校の生徒との2度目の交流となりました。

参加した6人の生徒に対し、講師役に7人の米山学友と青少年交往来日学生、サポート役のロータリアンが加わり、計21人が参加。英語と日本語を交えながら、グループディスカッションをしました。講師たちの雰囲気づくりにより、語学習得の方法など、生徒からの質問は尽きることなく、「国内に居ながら語学学習ができて嬉しい」、「留学という目標に向けて頑張りたい」

という感想であふれました。

東京米山ロータリーEクラブ2750奉仕プロジェクト委員長を務めるコイララ・アシュマさん(2008-09/東京井の頭RC)は、「オンライン活動に強みを持つ両クラブの力を活かした異文化交流・異文化理解プロジェクトは、高校生たちとの相互理解が一番の目的で、米山奨学生・学友の協力があつてこそです。言葉の壁や偏見、固定観念を取り除くことは、相互理解を促進し、真のDEIの実現に繋がると確信しています」と、述べました。



海外米山学友会総会のご案内★

タイ 2023年2月25日(土) 18:00～(日本時間) 会場: Royal Thai Naval Institute (オンライン配信検討中) 申込先: warawutjcc@gmail.com

マレーシア 2023年3月5日(日) 14:00～(日本時間) 会場: Shiok Kopitiam Bandar Kinrara (オンライン配信予定) 申込先: yoneyama.malaysia@gmail.com